



**2024 年度
ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ in やまぐち
実施報告書**



2025 年 3 月
公益財団法人 **国際障害者年記念ナイスハート基金**

目次

| | |
|---|----|
| はじめに | 1 |
| 実施概要 | 2 |
| スケジュール | 3 |
| 「メイミとともに〈多様さを認めあう〉ナイスハートワークショップ」 庄崎 隆志 | 4 |
| 「静かな温かさに包まれるノンバーバルコミュニケーション」 メイミ | 7 |
| プログラム概要 防府市大平園 | 10 |
| 参加者の感想 | 11 |
| プログラム概要 山口県ココニー協会 | 17 |
| 参加者の感想 | 18 |
| プログラム概要 指定障害者支援施設 ゆうあい | 22 |
| 参加者の感想 | 23 |
| プログラム概要 華南園 | 25 |
| 参加者の感想 | 26 |
| 編集後記 | 27 |

はじめに

当基金では、2011年の東日本大震災後の福島の子どもの障害のある子どもたちへの取組として、「ふくしまっこキャンプ」と題した活動を福島から関東へお招きをして、2012年度から続けてまいりました。

2015年度は、福島県内において活動できる内容として、養護学校中心にノンバーバル（非言語）コミュニケーションワークショップと題した、子どもたち同士がよりよくコミュニケーションを図るきっかけとして、楽しみながら体験していただくために開催しました。また翌年も、福島県内の障害のある子どもが通う特別支援学校や障害者施設でワークショップを行い、地域の中で支えあうつながりを強くすることができないかという目的のもと、2日間で4施設を訪問させていただきました。

2017年度は、前年4月に発災した熊本地震の被災地域にある障害者団体を3施設訪問させていただき、併せて、同時期に開催された第66回全九州ろうあ者大会と協働し、研修会とアクションの中で、実施致しました。そして2018年度は、三陸沿岸各地で道路が開通され、復興の歩みを進めておられる宮城県の石巻市・女川町と北海道胆振東部地震で被災された北海道胆振及び札幌市の障害者施設を中心に実施し、2019年度は、前年7月の西日本豪雨において被害にあわれた広島市の障害のある方々に対して実施致しました。

その後3年間はコロナ禍により中止となり、2022年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となってしまった千葉市の施設と札幌市で実施することができ、2023年度は、2020年7月の豪雨にて甚大な被害のあった熊本県人吉市周辺を4施設訪問させていただきました。

今年度は、2023年に大雨による被害のあった山口県内の障害者施設で実施することが出来、ノンバーバル（非言語）によるコミュニケーションについての学びの場と致しました。

2025年3月

公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金

実施概要

ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ in やまぐち

- 1. 目的** ノンバーバル・コミュニケーションワークショップは、言葉を使わずになかなか伝わらないもどかしさを感じながら、じっくりと相手と向き合うための空間です。そこから、自分らしい伝え方、伝えられ方を学び合う場として、当基金は、2011年度より東日本大震災等の被災地を対象として活動を実施して参りました。

今年度は、2023年に大雨による被害のあった山口県内の障害者施設で、新たな出会いとコミュニケーションについて考える場をつくり、障害や障害のある人への理解が深まることを目的に実施致しました。
- 2. 日時** 2025年2月20日（木）～21日（金）
- 3. 場所** 防府市大平園他（山口県防府市）
- 4. 主催** 公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金
- 5. 後援** 山口県 / (福) 山口県社会福祉協議会
- 6. ファシリテーター** 庄崎隆志さん office 風の器主宰・俳優・演出家
メイミさん 漫談家・介護福祉士・NPO 法人笑顔工場理事長

～スケジュール～

2月20日

【午前の部】 ※参加人数34名※

09:10 防府市大平園 到着

09:45 ワークショップ開始 ハイタッチ / アイスブレイク

10:00 早着替え / メイミパフォーマンス / パントマイム

10:05 エアボール / エアキャッチボール / 小道具

10:15 エアなわとび / 庄崎パフォーマンス

10:25 相撲 / 庄崎パフォーマンス

10:35 うみのおんがく

10:40 ワークショップ終了

【午後の部】 ※参加人数40名※

13:10 山口県コロニー協会 到着

13:45 ワークショップ開始 ハイタッチ / 庄崎パフォーマンス

14:00 波ダンス / わかめダンス / こんぷダンス / 社交ダンス / メイミパフォーマンス

14:15 小道具 / 変身ショー

14:25 エアなわとび / エア風船

14:40 歩くチェロ芝居～うみのおんがく～

14:45 ワークショップ終了→写真撮影

2月21日

【午前の部】 ※参加人数27名※

09:10 指定障害者支援施設ゆうあい 到着

10:05 ワークショップ開始 ハイタッチ / 手拍子ダンス

10:15 庄崎&メイミパフォーマンス

10:25 オリジナルダンス

10:30 変身ショー / ミラーリング / 早着替え / 変身ショー

10:40 相撲 / 汽車ごっこ / ナイスハートダンス

11:00 ワークショップ終了

【午後の部】 ※参加人数28名※

13:10 華南園 到着

13:50 ワークショップ開始 ハイタッチ

14:00 早着替え / オリジナルダンス

14:10 小道具 / 庄崎&メイミパフォーマンス

14:20 ミラーリング / 相撲

14:30 ナイスハートポーズ / オリジナルポーズ

14:40 ワークショップ終了

メイミとともに〈多様さを認めあう〉 ナイスハートワークショップ



庄崎 隆志

Takashi Shozaki

ノンバーバルコミュニケーション〈非言語〉によるワークショップはともにさまざまな障害をもつ相手とあらゆる感覚を使いコミュニケーションをとり、それぞれの強みを活かせる素晴らしいアートです。

そのため、これまで年齢や障害の有無問わず多くの人に開いたワークショップのファシリテーションを行ってきました。今回は皆さまのおかげで、とても楽しく、思い出に残る、大変充実した4か所のワークショップとなりましたことを心より感謝申し上げます。そして、今回のワークショップは、あくまでも「国際障害者年」の一環として行われた、ということが大きいです。どのように自分の今後の活動にフィードバックできるか、これからいろいろ試していきたいと思いました。

4か所のワークショップを振り返り、まとめて述べさせていただきます。最初に施設の代表者から挨拶があり、紹介をした後にみんな一人ひとりずつ、「ハイタッチ」がスタートしました。これから始まるプロローグ的な意味合いも感じさせます。

アイスブレイクの運動として、カラダのリズムに合わせて「左右に揺れる」「ゆらす」「手の体操」「物真似」などを行いました。

次に、メイミさんのリードのもと、「鏡マイム」で実際にからだを動かしていきます。2人で「動く人」「鏡役」に分かれて、鏡役の人が物真似による活動を行いました。

また、メイミさんが持ってくれた暖簾を使った「変身ショー」のパフォーマンス活動も

行いました。今でいう能楽堂の揚げ幕に近いです。暖簾によるパフォーマンスの活動を進めながら暖簾があると変身ポーズの動きが生まれやすい一方、みんなの前で緊張しすぎてからだの動きが固まってしまうこともあるので暖簾があった方がよいと考え、暖簾の後ろから参加者が飛び出し、「好きなポーズをつくる」というワークを行います。

その中で、自分の選んだことを肯定していく。動き出すときも止まるときも、他人がそうするから同じようにするのはではなく、自分で選んで決めるのが大事という再認識させられました。

次に、実際にパントマイムでからだを動かしていきます。

パントマイムの運動として「架空のボール投げ合い」「架空の縄跳び」「海・波のパフォーマンス」などの活動を行いました。パントマイム的な「ボール」をキャッチした参加者はみんなで「やったね!」と喜び合う、褒め合うみんなの演出までありました。

最後にはみんなで踊るワークショップを行いました。

たまに急に飛び出したり、車イスを利用する人のあとについてゆっくり進んでいたり、さまざまな動きのアイデアが生まれました。参加者からいただいたアイデアを選びながら動きをつくっていくコラボ的なパフォーマンスを行い、いろいろな歩き方で歩き、いろいろなポーズをとるダンスを行いました。

即興はなにが起こるかわからないし、パフォーマンスをしている人にも見ている人のエネルギーが伝わったのではないかと。また、新しい自分、新しい一面に出会えたと思っております。

多くの貴重なパフォーマンスと笑顔をたくさん見せていただき、参加者、職員の皆さんは、今回のワークショップで学んだことを生かして、それ



その現場で新たなノンバーバルコミュニケーションを生み出していくのではないかと思います。ノンバーバルコミュニケーションによるパフォーマンスは芸術の一つであるため、正解がありません。ノンバーバルコミュニケーションワークショップを通し、自分を受け入れ、認めることで自己肯定感を上げ、他者を認めることで穏やかな心を育み、可能性を広げることにつながります。さらにノンバーバルコミュニケーションには「心を伝えたい力」がもとより備わっており、自然にからだや表情がうごめくようなことは、どの人間が持つ素晴らしい習性の一つだと思います。自己表現が苦手な人でも、このようなワークショップを通して自分のコミュニケーションや気持ちを表現することで心と身体がつながり、心身ともに健康になる可能性があります。ナイスハートの的に元気になることが期待され、その結果、前向きな気持ちが生まれ、意欲的に行動できると考えます。また、心と身体がつながることで自分を知ることができます。

今回のワークショップで得られた知見を、今後のノンバーバルコミュニケーションの展開に活かしてまいりたいと思います。

参加者、大平園、山口県コロニー協会、ゆうあい、華南演の皆さま、国際障害者年記念ナイスハート基金の皆さま、メイミさま、ありがとうございました！！



庄崎隆志

演出家・劇作家・舞台俳優・ノンバーバルコミュニケーター

舞台俳優・日本演出者協会会員・日本劇作家協会会員・office風の器主宰元デフ・パペットシアター・ひとみ代表・創立メンバー（1981～2004）

1961年東京杉並区生まれ。現在淡路島在住。身体で人間を表現する「コトバ」を超えた表現者であり、劇作家、演出も手掛ける。1981年より全国各地750箇所2500ステージ、欧州、米国、アジア等14ヶ国公演を経験。『オルフェウス』『UKIYO E』『里亞王～リア～』『真夏の夜の夢』『波無烈斗～ハムレット』等シアター×提携公演、横浜赤レンガ倉庫・俳優座劇場・横浜ランドマークタワー・前進座劇場・世田谷パブリックシアターなど演出という実績を持つ。大学、企業、文化庁の演劇大学、国際障害者年記念ナイスハート基金、日本劇作家大会などでノンバーバル演劇（非言語）ワークショップ、身体表現の講座などの活動を続けている。平成22年度横浜文化賞・文化芸術奨励賞受賞。第1～9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園審査員長

静かな温かさに包まれる ノンバーバルコミュニケーション

メイミ

Meimi



山口県防府市にある4箇所の施設様を訪れました。
毎度のことながらそれぞれのカラーがあり、何一つ同じものはありません。
どんな方たちと出会えるのか？行ってみないと分からない。
始まってみないと、コミュニケーションを取ってみないとどうなるか分からない体当たりのワークショップです。だから面白い！
今回もノンバーバルコミュニケーションのスペシャリスト庄崎隆さんと共にファシリテーターを務めさせて頂きました。

「ノンバーバルコミュニケーションは色も形も自由自在に変化するキャッチボール」

ワークショップが始まると、まずはお一人ずつハイタッチでごあいさつ。その後、一緒に体を動かします。体を動かすことで冬の寒さとちょっぴり緊張感で固まった体と心をほぐしていきます。

また、障害者施設さんと言っても知的障害・身体障害・自閉症・重複障害の方、他にも様々な全く違う個性ある方が集います。

ウォーミングアップで体の動きや反応を見ながら、これからどんなことをしようかと、その時の直感に近い判断で展開していきます。

さて今回、印象に残ったことの一つは、最初は個々がバラバラと落ち着かない雰囲気だったのが、じわりじわりと繋がり、自由な中にも柔らかい一体感が生まれたことです。

状況によっては、全体で行うプログラムでは難しいことがあります。

そんな時は1対1、または2～3人の少人数で行うワークを繰り返し重ねて行きますが、それはどんどん形を変えていきます。

例えば、お相撲さんの動きをしていたはずが、最後は社交ダンスを踊っていたり。

ファシリテーターが変化させることもありますが、参加者さんの自由な発想で色も形も変化し、驚かされることもあるのです。

自由自在に変化するコミュニケーションを丁寧に重ねていくうちに、一人一人の心が温まりその場に一体感が生まれます。

ある場では、最後にはほとんどの参加者が立ち上がり踊り、まるでダンスホールのような盛り上がりを見せました。

ある場では、1人1人の魅力が溢れ出しました。表情豊かでにらめっこが得意な方、お相撲の力強い動きで場を沸かせた方、表現力豊かに様々





なポーズを繰り広げる方、皆さんの個性が輝き最後は熱気に包まれていました。

「静かな世界、見えない世界が同居すると、そこには温かな世界が生まれた」

実は以前から私個人、課題を感じていたことがあります。

聴覚障害がある方と視覚障害がある方が同じ場にいる時のコミュニケーションのあり方についてです。

特にノンバーバルコミュニケーションでは言葉を使わず、視覚情報や体を動かすといった手法が多い為、視覚障害の方にどうアプローチしていくか？ということはずっと考えていました。

そして今回、聞こえない方、見えない方が同じ場にご参加になり、このワークショップを通じて、新しい世界が広がる機会となりました。

庄崎さんが手で波を表現してゆらゆらと動かし、皆がその動きを真似し手をゆらゆら、海の世界が広がりました。

後方で静かに座っている女性、その方は視覚障害があり、状況が掴めずにいました。そこで私は彼女の手を取り一緒に波を表現したのですが、隣のお友達も仲間入り、その隣のお友達も仲間入り、次第に繋がり大きな波になっていったのです。今度はみんなにも見えるよう前に誘い出し、庄崎さんや更にお友達



も加わり一つの円になりました。

最初に仲間に加わったお友達は、ノンバーバルの通訳者にもなり言葉にしていきました。
「手を繋いで円になったよ」「真ん中に集まるよ」

すると最初は静かに後方で座っていた彼女も「次は何するの?」とワクワクしながら、その内「ちっちゃくなったね」「広がったね」「またちっちゃくなったね」とノンバーバルコミュニケーションを言葉にしました。

最後は段々面白くなってきて皆でケラケラと笑いながら、踊っていました。
ノンバーバルの世界は、言葉には表しようのない魔法のコミュニケーションだと世界が広がる瞬間でした。

困難さを感じる時ほど、丁寧にじっくり関わり温かな繋がりを育む。

人それぞれに違いはあれども、必ず心がつながるコミュニケーションの形があると実感しました。

この素敵な場を作るにあたりご尽力くださった関係者の皆様、講師の庄崎さん、温かく受け入れてくださった施設の職員様、参加者の皆様、有難うございました。

メイミ

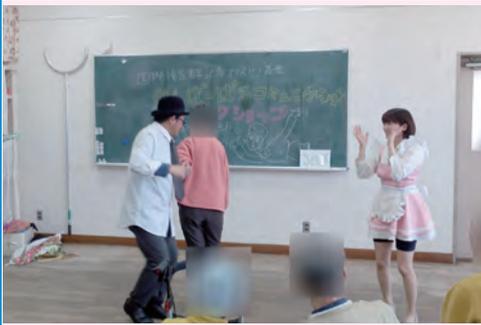
漫談家・介護福祉士・NPO 法人笑顔工場理事長。港区登録手話通訳者。

都内デイサービスセンター勤務の経験を活かし、全国各地の福祉大会や学校、介護セミナー、一般向けのイベント等、幅広い場で講演活動を行なう一方、NPO法人を立ち上げ、芸人・歌手・パフォーマー等各分野のエンターティナーの協力を得ながら高齢者施設、障害者施設、福祉イベント等での催しを開催。自身も演芸の舞台に立ち、介護福祉のリアルを漫談で伝えている。更に、港区登録手話通訳者 手話パフォーマンス、障害者スポーツ大会での司会やパフォーマンス、養護学校でのワークショップ講師等、障害者福祉との関わりも深い。モットーは「笑って長生き」「笑顔は副作用のない魔法のお薬」



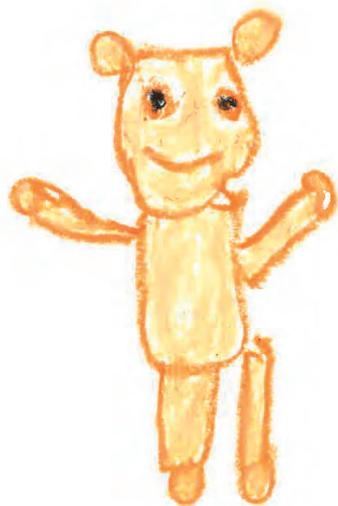
プログラム概要

防府市大平園 2月20日(木)

| 時間 | プログラム | 写真 |
|--------|-------------------------------|--|
| 09:45~ | ワークショップ開始 ハイタッチ アイスブレイク |  |
| 10:00~ | 早着替え メイミパフォーマンス パントマイム |  |
| 10:05~ | エアボール エアキャッチボール |  |
| 10:15~ | エアなわとび |  |
| 10:25~ | 相撲パフォーマンス 庄崎パフォーマンス |  |
| 10:35~ | うみのおんがく |  |
| 10:50 | ワークショップ終了 【参加者合計34名】 | |

国さししょうがり者其土金五ノ一
ばーばるスリニケートンノ無音
の演技はすばらしいかたです。
キョウツチボール。なわとび。お
すもじさん。お洋服のはやが
わり。水之い。うみの技。無音
の世界の優しさを感じました。
た。おふたりのすばらしい演技。
おふたさま。どうもありがとうございました。
と。うさぎいきました。声を出
さなくともすばらしい演技
技ができることを学びば
す。母で頂きました。
ありがとうございました。
どうもありがとうございました。
ます。

有久園子







そのうはどうぞも
ありがとうございます
いりませんここにありました





プログラム概要

山口県コロニー協会 2月20日(木)

| 時間 | プログラム | 写真 |
|--------|---|--|
| 13:45～ | ワークショップ開始 ハイタッチ 庄崎パフォーマンス |  |
| 14:00～ | 波ダンス わかめダンス こんぶダンス 社交ダンス メイミパフォーマンス |  |
| 14:15～ | 小道具パフォーマンス 変身ショー |  |
| 14:25～ | エアなわとび エア風船 |  |
| 14:40～ | 歩くチェロ芝居 ～うみのおんがく～ |  |
| 14:25 | ワークショップ終了 記念写真 【参加者合計40名】 | |



社会福祉法人 山口県コロニー協会に
お越しいただき、ありがとうございました。ハンバーバル
コミュニケーションワークショップの開催を利用者、職員、
とても楽しみにしていました。

いつも賑やかな利用者さん、静かな空間で、
ファシリテーターの庄崎様、メイミ様の動きを
見落とさないよう、伝えようとするものを受け止める姿勢や
普段、自己表現をおぼろしい利用者も自ら前に出て、
ファシリテーターの方と笑顔で交流する姿を見ることができ、
新たな一面を知れました。

今回のワークショップを通して、利用者も職員も、
コミュニケーションは言葉だけではないこと、自分らしく想いを
伝える方法、また相手の想いを受け止める方法を
学ぶことができたと思います。



今回のノンバーバルコミュニケーションワークショップの開催にあたり、楽しく、充実した時間を提供していただいたファシリテーターの庄崎様、メイサ様、そし企画・実施していただきました公益財団法人 国際障害者年記念 ナイスハート基金の事務局 鈴木様、高倉様、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



プログラム概要

指定障害者支援施設ゆうあい 2月21日(金)

| 時間 | プログラム | 写真 |
|--------|---------------------------------|--|
| 10:05~ | ワークショップ開始 ハイタッチ 手拍子ダンス |  |
| 10:15~ | 庄崎&メイミパフォーマンス |  |
| 10:25~ | オリジナルダンス |  |
| 10:30~ | 変身ショー ミラーリング 早着替え |  |
| 10:40~ | 相撲パフォーマンス 汽車ごっこ ナイスハートダンス |  |
| 11:00 | ワークショップ終了 【参加者合計27名】 | |

ノンバーバル・コミュニケーションに
参加できてよかったです。

私もお二人の動きに

電動車いすをそうさしながら
合わせる事に最初は
きんちょうしてしまいました。
でもお二人と一緒に
たくさんのお二人の動きの演義が
出来て楽しかったです。
ありがとうございました。



ノンバーバル・コミュニケーション・ワークショップに参加して

いつの間にか始まっていたお二人の演者によるノンバーバル・コミュニケーション。少しずつ、少しずつ。静かに、静かに。近づいて、近づいて、、、遂に利用者さんの指先と触れあった瞬間、パッと、その場に灯りがともり、空気が動いた感じがするほどの感動を覚えました。硬かった利用者さんの表情は、ワークショップが進むとともに明るく柔らかくなりました。普段関わり方が難しいなあと感じている利用者さんのお1人が、いつも見せない表情で、演者の方と一緒にパフォーマンスをして、みんなを笑顔にしてくれました。その利用者さんの笑顔がこのワークショップの意味を物語っていました。私たち支援員は、少しでも利用者さんの笑顔を引き出せるよう、日々関わって行きたいと思います。その時は、多くの言葉はいりません。利用者さんの表情や動きをよく見て、気持ちを感じ、共に在ることが大切です。ありがとうございました。

プログラム概要

華南園 2月21日(金)

| 時間 | プログラム | 写真 |
|--------|-----------------------------|--|
| 13:50~ | ワークショップ開始 ハイタッチ |  |
| 14:00~ | 早着替え オリジナルダンス |  |
| 14:10~ | 小道具パフォーマンス 庄崎&メイミパフォーマンス |  |
| 14:20~ | ミラーリング 相撲パフォーマンス |  |
| 14:30~ | ナイスハートポーズ オリジナルポーズ |  |
| 14:40 | ワークショップ終了 【参加者合計45名】 |  |



編集後記

今年度もふれあいのスポーツ広場にご参加頂いた4施設に訪問させていただくこととなり、参加施設の中には、施設に訪問させていただいて初めて対面することができた方々も多数ご参加頂き、このワークショップの価値を再認識することが出来たというのが率直な思いとなりました。

開始前にはお決まりのホワイトボードでの2人の似顔絵を披露・・・しかし、すでに参加者もじっとしてられず、ファシリテーターのそばで、何やら競うようにお絵描きモードに突入。すでにノンバーバルのワークショップは開始となっていました。

ファシリテーター2人が、1人1人の参加者に柔和なまなざしで語りかけ、何も反応がない時でも、余裕の笑みでリアクションをする庄崎隆志さんとメイミさん。約1年ぶりの共演となっても、1人1人の心をとまどくしていく道筋を探している心は、密に繋がっていると感ずることが出来ました。時には、参加者から指示されて、ボディーランゲージで反応したり、それは違うとたしなめられて、参加者の思うがままに操られたり、その場に適した最善のコミュニケーションを手探りで探して進んでいくのが、このワークショップの目的の近道なのではないかと思えます。

次なる手が行き詰まった時、職員の方々の力を借りたり、黒板の絵力を頼りにしたり、小道具で風向きを変えたり、はたまた参加者からの予想外の動きや発声に助けられたり、その空間でしか味わえないコミュニケーションの連続を目の当たりにすることが出来ました。

無数にあるコミュニケーションの手段の中から、このワークショップを通して少しでも心ときほぐす機会が増えることを願いつつ、このワークショップに関わってくださった全ての関係者の皆様に御礼申し上げます。

(公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金 高倉 和樹)

2024年度ノンバーバル・コミュニケーション・ワークショップ 実施報告書

2025年3月発行

発行元 公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金